

2016年度 事業報告

施設名 ガーデン エル

施設長名 中野 陽介 ㊞

種別 乳児院

設立 2010年 4月 1日

認可 2010年 4月 1日

* 2016年度事業計画に対する評価

- ・2016年度前半は入所以来が少なく、次年度の暫定定員を招く結果となった。
- ・小舎制を基本とするガーデン エルでの家庭的生活の進展に全員で取り組めた。

1. 事業運営の概況

認可定員	ひよこ	たんぼぼ	ちゅうりっぷ	ひまわり	さくら
30名	6	6	6	6	6

2. 入所実績

① 在籍児数（各月1日在籍数:措置児のみ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0才児	5	5	7	7	9	10	11	10	11	11	12	11	109
1才児	7	7	7	6	6	6	6	6	8	10	11	9	89
2才児	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	4	30
3才児	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
4才児	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
措置児合計	16	16	18	15	17	18	19	18	22	24	27	24	234

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一時保護	4	1	6	6	8	3	6	10	5	3	1	3	56
ショート(含里子)													

② 職員構成

職種	施設長	児童指導員・保育士 看護師	事務長	栄養士 調理員等	里親支援員 心理専門職	管理 宿直	嘱託医	合計
定数	1	29	1	6	各1	5	1	45
実数	1	29	1	6	2	5	1※非常勤	45

※児童指導員・保育士の定数及び実数には以下の加算職員が含まれる。指導員特別加算1名、家庭支援専門相談員1名、個別対応職員1名、小規模グループケア5ホーム分

3. 入所児の処遇実績

イ) 健康管理

定期健康診断	測定・検査など
嘱託小児科医による健康診断を年2回実施。 母子保健法に基づく健診(東保健センター)4カ月、6カ月、1歳半、3歳半 月1回、嘱託医との連絡会を開いている。	身体測定：0歳月2回、1歳以上月1回実施。(特例あり) 予防接種：嘱託医の協力のもと、公費負担の無い種類も含 月齢に応じ計画的に実施。 BCGは東保健センターにて実施

ロ) 栄養管理（食事・おやつ）の取組み

- ・大阪いずみ市民生協から安全安心な食材の購入を心掛けている。
- ・おやつは、手作りを重視して、季節感のあるものを提供している。
- ・栄養士4人体制で、アレルギー外来付添等より生活現場との連携を深めている。
- ・児童養護施設ガーデン ロイの献立もエルとは別メニューでたてている。
- ・離乳食は個別のトレーで、名札を付けて提供している。
- ・きざみ・軟食等は個人の成長に合わせて、食形態も変えている。
- ・アレルギー除去食では、献立に除去食品をマーカーでチェックした専用の献立表を作成。食事提供時に持参し、

照らし合わせて職員に伝えるようにしている。また、除去食用食器には名札を付けている。

- ・ 普段の食事は魚と野菜を重点的に利用し、家庭的メニューを心がけている。
- ・ ひな祭や七夕、クリスマス、花見弁当、お食い初め等行事、季節に応じた食事を提供している。
- ・ 食育として、栄養士がホームに入り、ホームクッキングを子どもと共に行っている。
- ・ 献立中の麺類に関しては全て、ある製麺会社からの寄贈である。

ハ) 年間行事

<p><行事の取り組み方> ガーデン エルは6名の小舎制(5ホーム)であり、一般の入所施設であるような運動会や遠足等全体行事を実施しない事とする。ホーム単位による、家庭的な日々の取り組みに努める。</p>
<p><結果と考察> 個別担当者による1対1の外出や宿泊、子どもの希望に合わせた誕生日の持ち方等、より家庭的な日々のあり方を工夫し、実践する事ができた。</p> <p>① マナ館(親子訓練棟)を利用し、担当職員と夕方から翌朝まで、二人でゆっくりと過ごす。</p> <p>② 外出(動物園、USJ、海遊館等)は、担当職員と1対1で出かける。誕生日外出等。</p> <p>③ 七五三、その他で個別に写真館に行き記念写真を撮っている等々。</p> <p>以上は、面会・外泊等の少ない子に特に手厚くおこなった。</p>

ニ) 安全管理

ガーデン エルロイで危機管理委員会を構成し、毎月の避難訓練や関連研修に取り組んだ。

災害時の備蓄用品を7日分に増やして備えている。

火災 地震	火災、及び地震から火災の想定で、避難訓練を9回実施。内1回は消防署の参加により指導を受けた。
救急救命	ガーデン エルロイ看護師により、AEDによる救命訓練(職員)3回実施。

ホ) 賠償保険等の加入状況(利用者対象)

保険種別	会社・団体名	補償内容(金額)
施設賠償責任保険	共栄火災海上保険(株)	対人2億円

4. 職員処遇の実績

イ) 職員の健康管理

- ・ 定期健康診断 年2回、検診内容(胸部X線、血圧、尿、心電図、問診他)
- ・ 検便 調理員・栄養士 年24回、保育士・指導員・看護師 年12回

ロ) 労務管理

- ・ 特になし

ハ) 職員会議

主任会	施設長、保育主任、看護主任	随時
副主任会	施設長・主任・副主任の会議	1カ月1回
ガーデンエルロイ合同会議	ガーデンロイと合同の研修、礼拝、会議	随時
エル会議	エル職員会議	1カ月1回
危機管理委員会	防災、防犯、訓練の実施等に関して	1カ月1回
保健衛生会議	保健衛生、医療面全般	1カ月1回
心理士会議	心理士の関り方検討	1カ月1回
ごちそう会議	食事おやつ、栄養面全般	1カ月1回
ケース会議	施設長、主任、副主任、FSW、担当職員	随時
その他	ホーム会議、自立支援計画策定会議、	随時

*運営の安定に伴い、ファミリーホーム ハンナの運営会議を月1回から随時に変更した。

ニ) 研修実績

No.	研修名	主催者	研修内容	期間	参加人数
1	平成28年度 新入職員のためのサービスマナーセミナー	大阪社会福祉人材支援センター	①社会人、組織人としての心構え②社会人、組織人として期待されるルールやマナーの実践③組織の一員として、仕事をする上での基本理解の共通④挨拶や言葉遣い	4/21(木)	保育士3名 指導員1名 栄養士1名

2	平成 28 年度河内会新任研修会	河内会	①「子ども家庭センターの役割」②「施設職員の心構え」③「河内会の歴史」、「グループ指導」	5/6 (金)	施設長 1 名 保育士 3 名 指導員 2 名
3	第 7 回修復的愛着療法セミナー	修復的愛着療法研究会、子どもの養育とアタッチメント・トラウマ研究会、明治大学心理学臨床センター	ケースセミナー 日本における臨床実践から学ぶ	5/13(金)～ 15(日)	保育士 1 名
4	平成 28 年度河内会心理士研修	河内会		5/13 (金)	心理士名
5	第 4 8 回共済会施設職員ソフトボール大会	河内会		5/25 (木)	指導員 1 名
6	平成 28 年度児童施設課程<基礎コース I>	大阪社会福祉人材支援センター	①「児童福祉施設の現状と期待される職員像」②「子どもの理解と権利擁護」③「児童福祉施設職員としての役割」④「先輩職員が語る児童福祉施設の仕事」⑤「施設と子ども加算センターの連携」⑥施設職員・社会人としての心構え」⑦児童施設職員としてのこれからを考える」	5/26 (木) 5/27 (金)	保育士 2 名
7	平成 28 年度第 1 回感染症・食中毒予防対策講習会	福祉と人権の研修ネットワーク大阪	「食中毒予防対策」	6/7 (火)	指導員 1 名 栄養士 1 名
8	第 38 回「小さな会」	小さな会	「家庭的養護を担う施設の現状と課題」	6/11 (土)	指導員 1 名
9	平成 28 年度サービスマナー・セミナー	大阪社会福祉人材支援センター	初級クラス①質の高い福祉サービスとは？②気持ちを通うコミュニケーション③ビジネスマナーの基本と実践④プロとしての話し方⑤意見具申のルール⑥これからの私	6/13 (月) 6/14 (火)	保育士 1 名
10	平成 28 年度第 1 回河内会職員研修	河内会	「思春期の揺らぎとその理解」	6/16(木)	指導員 1 名
11	H28 年度アウトリーチ型研修		「安心感の輪」子育てプログラム	6/20 (月)、 7/13(水)、9/7 (水)、10/5 (水)、11/2 (水)、12/7 (水)	保育士 3 名
12	第 37 回養成校と児童福祉施設との実習懇談会	児童施設部会	『施設実習モデルプログラムの協働作成に向けて』	6/21(火)	施設長 1 名 保育士 1 名 指導員 1 名
13	平成 28 年度近畿乳児福祉協議会	近畿乳児福祉協議会	①「社会的養護における乳児院の課題」②新たな子ども家庭福祉の具現化に向けて③児童虐待と乳児院に求められる支援について④育ちをつなげる”telling”～共に歩むチームを目指して～⑤「こどものたべる」～子どもが楽しく食べるためのヒント～⑥虐待事件の取材をとおして親とのつながり方を考える	6/28 (火) 6/29 (水)	施設長 1 名 保育士 1 名
14	平成 28 年度権利ノート研修会	児童施設部会	講義と演習「子どもの権利擁護について」「施設における子どもの権利擁護について」「一時保護所におけるインテークと初期対応」「入所時の対応」「インテーク場面とロールプレイング事例」	6/13 (月) 6/29 (水)	保育士 1 名 指導員 1 名
15	平成 28 年度河内会情報交換会「主査・課長並びに主任・基幹的職員」	河内会		6/28(火)	保育士 1 名
16	平成 28 年第 1 回栄養士部会研修会	東大阪市集団給食研究会	講義「なかよし給食～アレルギー事故のリスクを減らすために～」、調理実習	6/30(木)	心理士 1 名 栄養士 1 名
17	東大阪小児科医会第 37 回例会	東大阪小児科医会	施設見学会 東大寺福祉療育病院	7/2 (土)	指導員 1 名
18	イエス団主任会	イエス団兵庫ブロック主任会		7/9 (土)	指導員 1 名
19	大阪施設保母の会 7 月例会	大阪施設保母の会	定例会・施設見学『社会福祉法人大念仏寺社会事業団 大念仏乳児院/母子生活施設ボ・ドーム大念仏』	7/12 (火)	保育士 1 名

20	平成 28 年度第 1 回児童福祉施設と子ども家庭センターとの合同研修会	児童施設部会	家庭引取に向けた施設と子ども家庭センターの取り組みについて考える 実践報告②事例、グループ討議	7/14 (木)	指導員 1 名
21	第 60 回全国乳児院研修会	全国乳児福祉協議会	①「子どもの育ちにおける愛着とは」②第 1 分科会「乳幼児への緊急対応に必要な知識～基礎知識と食物アレルギー～」③第 2 分科会「良好なチームによる養育力の向上～専門性を子どもの養育に活かすために～」④第 3 分科会「里親とのパートナーシップによる子ども中心の里親委託の進め方」⑤第 5 分科会「アセスメント力向上～質の高い養育にむけて～」	7/27 (水) 7/28 (木) 7/29 (金)	保育士 1 名
22	平成 28 年度児童虐待防止協会オープン講座「子ども虐待」実践編	児童虐待防止協会	①「関わりが難しい親への対応」～精神保健の視点からの検討～②「関わりが難しい親への対応」～実践事例からの検討～	8/5(金)	指導員 1 名
23	日本児童養護実践学会国際児童福祉セミナー	一般社団法人日本児童養護実践学会	ドイツの児童養護施設とソーシャル・ペタゴギックな実践について～人材養成・専門職への変化する課程として～	9/4 (日)	施設長 1 名
24	平成 28 年第 2 回河内会心理士会議	河内会	プレイセラピーにおける導入と見立て	9/12(月)	心理士 1 名
25	平成 28 年度近畿乳児福祉協議会職種別研修会 栄養士・調理師部会	近畿乳児福祉協議会	食物アレルギー児への除去食・代替食の講習と調理実習	9/13(火)	栄養士 1 名
26	平成 28 年度社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会		9/20(火) 9/21(水)	施設長 1 名
27	平成 28 年度大阪府内児童施設職員研修会	児童施設部会	①「愛着や発達(更には知的)に障がいを持つ子どもの年齢毎の特性や背景を理解し、各種別の施設職員が共通認識を持ち、ケアの連続性について学びを深める」②第一分科会「これからの児童施設部会はどう進んでいくのか?真剣討論!児童福祉施設の課題とこれからの『結束』」③第 2 分科会「子どもにとって安心の基地となる施設職員のかかわりとは」④第 3 分科会「障がいを持っている子どものかかわり方について」⑤第 4 分科会「虐待による不適切行動の理解について」	9/27(火) 9/28(水)	施設長 1 名 指導員 1 名
28	第 2 回集団指導者養成教室(消防訓練・普通救命講習)	従事者部会	『消防訓練』及び『普通救命救急(実技指導)』	10/7(金)～ 10/11(火)	保育士 2 名
29	こころの臨床・専門講座 5 心理療法とアセスメント	公益財団法人明治安田こころの健康財団	①精神力動的診断の基礎理論②家族療法におけるアセスメント③精神力動から見た見立て④認知行動療法におけるアセスメント	10/8 (土) 10/9 (日)	心理士 1 名
30	平成 28 年度施設階層別人権研修	大阪福祉人材支援センター	①子どもの貧困は家族の貧困②多文化共生と人権	10/17(月)	保育士 1 名
31	平成 28 年度河内会情報交換会「中堅職員」	河内会		10/20 (木)	指導員 1 名
32	平成 28 年度ブロック別児童福祉施設給食関係者研修会(第 3 ブロック)	厚生労働省、姫路市、公益財団法人児童育成協会	①「平成 27 年度乳幼児栄養調査結果から見え現状と今後の支援の方向性」②「乳幼児期の発育・発達と食育～こどもの食事に関わる全ての大人が知っておいて欲しいこと～」	10/21 (金)	栄養士 1 名
33	第 41 回はぐくみ会	はぐくみ会	「児童相談所の組織と業務について学ぶ」	10/21(金)	保育士 3 名 指導員 1 名
34	大阪府はぐくみホームシンポジウム 2016			10/22 (土)	保育士 1 名
35	JB フェローズ大阪ブロック		愛之園保育園公開保育	10/25(火)	保育士 1 名
36	平成 28 年度施設階層別人権研修	大阪福祉人材支援センター	①セクシャリティと人権～LGBT から考える多様な性②子ども虐待防止のために	10/26(水)	保育士 1 名

37	JB フェローズ大阪ブロック	JB フェローズ大阪	給食情報交換会	11/10 (木)	栄養士 1名
38	平成 28 年度第 2 回河内会職員研修会	河内会	①里親制度についての基本的理解、里親支援専門相談員の仕事②家庭養護促進協会の仕事…特別養子里親・週末里親～里親登録から委託後の実際③大阪府はぐくみホームによる養育促進事業について	11/10 (木)	施設長 1名 指導員 1名
39	平成 28 年度基幹的職員研修 (大阪府・堺市分)			11/21 (月) 12/15 (木) 1/23 (月)	保育士 1名
40	平成 28 年度ボーイズタウンコモンセンス・ペアレンティング幼児版 (CSP)初級指導者養成講座	大阪福祉人材支援センター		11/22(火) 12/6(火) 12/13(火)	保育士 1名
41	第 2 回社会福祉施設従事者研修会	東大阪市社会福祉施設団連絡会	「災害時のこころのケア～災害時の心理的影響について考える～」	11/25(金)	施設長 1名
42	園長・福祉施設長等交流会	東大阪市社会福祉施設団連絡会		11/25(金)	施設長 1名
43	日本子ども虐待防止学会第 22 回学術集会大阪大会	一般社団法人日本子ども虐待防止学会		11/25(金) 11/26(土)	保育士 1名 指導員 2名
44	H28 年度近畿乳児福祉協議会職種別部会 家庭支援専門相談員・心理職・里親支援専門相談員合同部会	近畿乳児福祉協議会	①「生活の中で実践する Telling～直接指導職員と協働する専門職として」②「育ちをつなぐ支援、里親事業」	11/29(火) 11/30(水)	保育士 1名 指導員 1名 心理士 1名
45	平成 28 年度河内会子ども家庭センターとの施設職員の情報交換会	河内会		12/1 (木)	指導員 1名
46	平成 28 年度近畿乳児福祉協議会職種別研修会保育士部会	近畿乳児福祉協議会	「乳幼児の運動発達と発達援助」	12/2 (金)	保育士 2名
47	平成 28 年度児童施設部会人権研修会	児童施設部会	「子どもを主体とした権利擁護の実践に向けて」	12/5 (月) -	保育士 1名
48	平成 28 年度児童福祉施設指導者合同研修	子どもの虹情報研修センター	「措置変更等の環境変化への対応」、「ケースカンファレンス」、「スーパーバイズ」	12/6(火)～ 12/8(木)	指導員 1名
49	職員研修会&交流会	東大阪福祉施設会	社会福祉法人みささぎ会見学	12/7 (水)	施設長 1名 指導員 1名
50	「災害研修」	東大阪市 東大阪市社会福祉協議会	災害発生時のニーズと社会福祉施設の専門性に関する一考察	12/14 (水)	施設長 1名
51	平成 28 年度児童施設部会主任研修会	児童施設部会	「子ども家庭センター (児相) との協力・協働関係について考える」	1/16 (月)	保育士 1名
52	平成 28 年度河内会宿泊研修会	河内会	施設見学『社会福祉法人 丹生学園』	1/18(水) 1/19(木)	施設長 1名 指導員 1名
53	平成 28 年度乳児院職員指導者研修	子どもの虹情報研修センター		2/7 (火) ～ 2/10(金)	保育士 1名
54	平成 28 年度第 3 回心理士研修会	河内会		2/7 (火)	心理士 1名
55	平成 28 年度近乳協「看護師部会」	近畿乳児福祉協議会	①「感染症防止の基本について」手指衛生のお話～②「近畿乳児院における食物アレルギーの実態調査結果について」③「今年のインフルエンザ対策について」④「乳児院におけるロタウイルスワクチンの効果について」⑤「乳幼児の集団生活施設における感染症とその対策について」	2/15(水)	看護師 1名
56	平成 28 年度第 3 回河内会職員研修会	河内会	「ジェノグラムからの家族理解」	2/16 (木)	指導員 1名
57	平成 28 年度児童施設長研修会	児童施設部会	これからの施設を適切に運営していくために施設長に求められていること	2/20(月) 2/21(火)	施設長 1名
58	平成 28 年度児童施設課程基礎コース フォロアアップ研修	福祉人材支援センター	①この一年の右自分や仲間の成長を共有する。自身の施設について振り返る。②児童福祉施設職員の知識/支援を確認する。他施設との情報交換。先輩職員による経験談のお話。児童福祉施設職員としての今後の目標。	2/23(木)	保育士 2名

59	チャイルドリソースセンター10周年記念活動報告会	チャイルドリソースセンター		2/25 (土)	指導員 1名
60	平成 28 年度第 2 回児童福祉施設と子ども家庭センターとの合同研修会	児童施設部会	『児童福祉の現場では』～ストレスを知る～	2/28 (火)	保育士 1名
61	チャイルドリソースセンター事例検討会	チャイルドリソースセンター	アタッチメントに基づく事例検討	3/6 (月)	指導員 1
62	平成 28 年度テーマ別研修	子どもの虹情報研修センター	「家族への支援ーステップファミリーー」	3/7(火) 3/8(水)	指導員 1名
63	里親会合同春季里親研修会	大阪府里親連合会	「児童福祉法改正と里親として知っておくべきこと」	3/11(土)	指導員 2名

<結果と考察>

- ・児童福祉の外部研修は数多く実施されていて、取捨選択に配慮を要した。
- ・アウトリーチ型研修という、他施設と協同で行う研修を企画し、実施。

ホ) 福利厚生<退職共済制度 (機構・府県・市)、福利厚生制度等>

- ・社会福祉施設職員等退職手当共済制度 (福祉医療機構)
- ・大阪民間社会福祉事業従事者共済会
- ・ガーデン エルロイ、ハンナの職員を 3 班に分け、親睦旅行等実施。

5. 地域との交流の報告

- ・リサイクルや清掃委託で、近隣の障害者施設と連携している。
- ・里親支援専門相談員を中心に、地域の里親会を支援している。
- ・サマーボランティア、抱っこボランティア等々様々なボランティアの受入。

6. 施設・設備の整備の実績 (項目、金額、実施月等、10 万円以上記載)

7. 会計決算の状況

- ・職員配置基準の改定により措置費増となった。
- ・下半期に産休職員が複数出た為、給与支出が減少した。
- ・インターフォン内線設備や管理棟全扉の修繕があり、修繕費増となった。
- ・新生児枠拡大に伴い、紙オムツ他衛生用品等消耗品費増となった。
- ・ハンナの新人所児童の入所時期が遅くなったため、措置費減となり追加繰入を行った。

8. その他

- ・計 6 名の児童に里親家庭移行や養子縁組の成立をみた。